

2008年2月7日

日華化学株式会社
福井市文京4丁目23番1号
<http://www.nicca.co.jp>

日華化学 鹿島工場の建設について ～ 非イオン界面活性剤事業拡大へ ～

日華化学株式会社（本社：福井県福井市、社長：江守康昌）は、鹿島コンビナート（茨城県神栖市）内に、非イオン界面活性剤を中心とした新工場（鹿島工場）を建設することになりました。第一期工事は2008年10月に着工、2010年3月に完成、第二期工事は2011年4月に着工、2012年3月に完成を予定しております。当社は、この新工場建設により繊維加工用薬剤、紙・パルプ用薬剤、業務用洗剤、樹脂等の主原料となる非イオン界面活性剤分野での事業拡大を進めてまいります。なお、工場用地につきましては、2008年2月6日付けで旭硝子株式会社（本社：東京都千代田区）と売買契約を締結いたしました。

鹿島コンビナートは、工場の立地環境が整っており、非イオン界面活性剤の主原料であるEO（エチレンオキシド）やユーティリティ関係がパイプで供給されること、コスト競争力、鹿島港が近く原料の国際的な海上輸送基地としての利便性等がメリットとなります。

当社は、国内に3工場、海外に8つのグループ拠点工場を有していますが、新工場は、主に非イオン界面活性剤を生産する工場にしたいと考えております。

非イオン界面活性剤は、現在、関東工場（千葉県旭市）で生産しておりますが、関東地区を中心とした東日本の生産拠点としての位置づけ、拡大を続ける海外子会社への原料供給拠点としての将来性、今後計画していく新規事業に対応するための拡張性等を考慮し、鹿島コンビナートへの工場移転の運びとなりました。

今回の新工場建設に伴い、社内では組織横断型プロジェクトを発足し、研究開発力の強化やマーケティング活動等に注力しながら、非イオン界面活性剤の生産供給体制を拡大し、原料調達、効率生産などで競争力の強化を図ってまいります。

新工場の概要

- ・所在地 茨城県神栖市深芝 16 番 2
(鹿島コンビナート 神之池西部地区)
- ・面積 約 50,000 m² (約 15,000 坪)
- ・生産能力 第一期 20,000 トン / 年
第二期 20,000 トン / 年 合計 40,000 トン / 年
- ・生産品目 繊維加工用薬剤 及び その原料
紙・パルプ用薬剤 及び その原料
業務用洗剤 及び その原料
- ・人員 第一期工事後 25 名
第二期工事後 65 名
- ・投資金額 約 40 億円 (土地、建物、設備含む総額)
- ・今後の予定 2008 年 10 月 第一期工事 着工
2010 年 3 月 同 上 完成
現 関東工場の非イオン界面活性剤生産工場を移転
2011 年 4 月 第二期工事 着工
2012 年 3 月 同 上 完成
現 関東工場の全面移転完了

完成予定図



以上

< 本件に関するお問合せ先 >

日華化学株式会社 経営企画室

〒910-8670 福井市文京 4 丁目 23 番 1 号

TEL 0776-25-8551 FAX 0776-25-4798